

# 地域おこし 協力隊通信



移住支援担当

奥村 純一

皆さん、こんにちは。奥村です。体温に近い(体温を超えている日もありそうですが)気温の日が続いています。健康やお過ごしでしょうか。

私の1日は愛犬の散歩から始まります。体重24kgなので中型犬と言われる大きさ、10歳くらいですので、人間に例えると60歳過ぎ初老にさしかかる年齢になりましたが、散歩が大好き、どこまでも歩きます。しかし、この炎天下の散歩は足の裏が焼けてしまいますし、短毛なので暑さは大敵です。太陽が昇りきる前の散歩中、いつしか自分の年齢を超え、先に老いていく愛犬といっしょに歩める喜びをしみじみと感じています。

百貨店で皆野をPR



皆野長瀬フェア開催

お隣の長瀬町地域おこし協力隊の北筋史子さんも、協力隊就任以降、地域での継続事業「Shio」というお菓子屋さんを知ってもらいたいと参加表明し「HODOSANDO COFFEE STAND」、アートとアウトドアの店「UP DRAFT」2軒の長瀬のお店も出店してくれることになりました。

また、親身出身で、長く横浜の人気ピッツア店で修行していたピッツアの移動販売車「ピッツア・アロマ」酸田さんも、父の日の週末に合わせて、百貨店入り口で販売するなど、大いに皆野産をアピールしてくれたのです。

熊谷にある八木橋百貨店で、催事コーナーを担当する宮地さんとは、旧知の間柄。3階のフロアのリニューアルがあり、物産展などの開催ができませんよとお声掛けいただいたのは半年前のことでした。そこで思いついたのが、皆野のPRです。

過去に私が開催したイベント、皆野サンデーラリーや、ミナノミラノでお世話になった、「新井武平商店」さんや、「亀沢屋さん」養蜂家「Sakuragochi」岡野さん、下田野にある燻製屋「塩とけむり」五来さん、「Mahora 稲穂」長谷川さんがPRに賛同。

会期中には、皆野高校の生徒さんも販売実習ということで、「なんちゃって味噌ポテトサブレ」の店頭販売を行い、用意した100個の商品を早々に売り切るといった快挙も達成しました。隣合わせで燻製とソーセージの試食販売をしていた「塩とけむり」代表の五来さんは、緊張している高校生を和ませることに一役買ってくれるなど、嬉しいコミュニケーションもありました。



皆野高校生による販売実習

ツトは何度か補充が必要になるくらい、来場したかたにお持ちいただけました。また、常設埼玉ブースには、皆野町のパンフレットと並んで今後も置いていただけるといふことで、とてもありがたいですね。



「塩とけむり」による試食販売

## 世代を超えた コミュニケーション

無事に終えた皆野長瀬フェア出店者との懇親会。慰労会だけにするにはもったいないと思い、この地域で積極的に活動や発信をしている何人かに声をかけてみると、数人が参加してくれました。その意見交換には、違う視点での地域の魅力の発見発信、空き家問題など、多岐に渡る意見交換は、外来種(私たち)だけでなく、在来種(地元出身の人)共通の危機感を持ち、それらの問題を意識しているのを知ることのできた集いでもありました。今後、より多くの人たちとよい皆野町を考えていきたいですね。